

第37回夏季大学「新しい気象学」～都市の気象と災害～開講のお知らせ

教育と普及委員会

主催：日本気象学会

後援：気象庁，日本地学教育学会，(財)気象業務支援センター

日本気象学会は，最新の気象学の普及を目指して，小・中・高等学校の先生方と気象を学ばれている学生や一般の方を対象とした講座を，毎年夏休みの時期に開催しています。

今年は，「都市の気象」をテーマに取り上げます。ヒートアイランド現象が代表するように，都市には独自の気象現象が存在します。時に，その現象が人間活動に大きな影響を及ぼす事があります。講義では，都市の気象現象を調査されている専門家の皆様をお招きし，都市気象に関する最新の情報を紹介して頂きます。また，最終日の午後に，希望者を対象とした，気象庁職員による天気予報実習を行います。

○開催日程（講義時間等は，次ページ参照）

平成15年8月4日（月）から8月6日（水）までの3日間，初日9時から受付開始

○講義会場

東京大学山上会館2階 大会議室
（東京都文京区本郷7-3-1 東京大学本郷キャンパス内）
なお，会場への交通の項と次ページの地図を参照して下さい。

○受講料（消費税含む）

一般5,500円，教員5,000円，気象学会員・学生4,500円
参加申込受付後，返信にて郵便口座への振込をお願いします。受講料の振込確認後，テキストと受講票を送付します。

○参加申込方法

以下に示した必要事項のみ記入して，往復葉書または電子メール（次項参照）にてお申し込みください。受付次第，受講の可否を返信します。なお，往復葉書の場合は復信に宛先を必ず記入し，電子メールの場合は Subject（件名）を必ず「夏季大学参加希望」として下さい。

- 1 「夏季大学参加希望」
- 2 住所・氏名

- 3 連絡先（電話番号等，平日日中に連絡がつくこと）
- 4 「天気予報実習」への参加希望の有無
- 5 テキストの送付先（2と異なる場合のみ）
- 6 その他
学生・教員の方は所属を，気象学会員の方は「気象学会会員番号」を明記して下さい。

○参加申込先

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-4
気象庁内日本気象学会事務局

夏季大学申込用電子メールアドレスは，日本気象学会ホームページ（<http://wwwsoc.nii.ac.jp/msj>）のお知らせに掲載する予定です。

○申込締切

平成15年7月11日（金）必着。受付は先着順とし，定員（約100名）に達しましたら締め切らせて頂きます。

○お問い合わせ先

気象庁内 日本気象学会事務局
Tel. 03-3212-8341（内線2546） Fax. 03-3216-4401

●テキストのみ希望される方へ

葉書に，①夏季大学テキスト希望②必要部数③送付先の住所・氏名を明記し，申し込み下さい。テキストと振替用紙をお送りします。代金は1部1,000円（送料込）です。刊行部数が少ないので早めにお申し込み下さい。

●会場への交通

営団地下鉄丸の内線または都営地下鉄大江戸線
本郷三丁目駅下車徒歩10分
営団地下鉄南北線
東大前駅下車徒歩10分
営団地下鉄千代田線
湯島駅または根津駅下車いずれも徒歩10分
学バス東大構内行き
上野浅草口，お茶の水聖橋口：東大病院前下車
都バス荒川土手行き
東京駅丸の内北口：東大正門前下車
都バス駒込駅行き
東京駅八重洲口：東大正門前下車

第37回夏季大学「新しい気象学」～都市の気象と災害～ 講義時間表

8月4日 (月) 10:00~11:30	都市の気象と災害 三上 岳彦 (東京都立大学)	ヒートアイランドに代表される都市の高温化に社会的関心が高まっている。主に東京を例として、ヒートアイランドの実態解明に向けた研究動向を紹介するとともに、都市高温化のメカニズムや、近年頻発する「都市型豪雨」に関する最新の研究成果についても述べる。
8月4日 (月) 13:00~14:30	都市の気象の実態—ヒートアイランドを中心として— 藤部 文昭 (気象研究所)	都市のヒートアイランドについて、観測結果を紹介しながらその成因やメカニズムを考察する。都市の湿度や風の変化も取り上げる。また、首都圏のヒートアイランドの特徴と近年の夏の暑さとの関わりについても考えてみたい。
8月4日 (月) 15:00~16:30	住民からみた都市の気象災害 片田 敏孝 (群馬大学)	東海豪雨災害など近年の都市型気象災害を事例に、災害進展過程における住民の対応行動や災害情報理解の現状と問題点を概観するとともに、これからの災害対応のあり方を主に災害情報提供や防災教育の視点から検討する。
8月5日 (火) 10:00~11:30	都市の緑と熱環境 半田 真理子 ((財)都市緑化技術開発機構)	都市の緑には環境保全、景観形成、防災など各種の機能があるが、今回の講義では、近年問題となっているヒートアイランド現象に焦点をあて、その緩和に資する緑の役割について述べる。あわせて都市の熱環境改善の観点から、公園緑地の保全・創出のあり方や、屋上緑化、緑のまちづくりの進め方などについて論じる。
8月5日 (火) 13:00~14:30	都市大気汚染と酸性雨 土器屋 由紀子 (江戸川大学)	都市大気汚染からはじまった「酸性雨」問題は古くて新しい地球環境問題である。最近では「雨=降水」の酸性化だけでなく、「大気の酸性化」とも考えられている。その発生機構、化学反応、長距離輸送、環境影響などについて解説する。
8月5日 (火) 15:00~16:30	都市気象のシミュレーション 高橋 俊二 (気象庁)	都市は人工熱の排出や、地面がコンクリートに覆われるなど高温となりやすいことは感覚的に理解できるが、その定量的な評価は数値モデルを用いたシミュレーションで行われる。都市大気数値モデルの概略と都市気候シミュレーションの現状を紹介する。
8月6日 (水) 10:00~11:30	ビル風について 藤井 邦雄 ((株)風環境リサーチ)	今でも建築紛争の中心的課題に取り上げられることが多いビル風問題について、事例や風洞実験やコンピューターシミュレーションによる予測方法、予測結果の評価法、対策例などを示し、ビル風の基本的知識と今後の課題を示す。
8月6日 (水) 13:00~16:00	天気予報実習 (希望者のみ) 三浦郁夫 他2名 (気象庁)	各種数値予報資料や気象庁内において実際に使用している各種予報資料を用いて天気予報を作成します。また、国際気象通報式をプロットした図から天気図を作成します。

東京大学山上会館案内図

会場案内図

